社協だより あさご

朝来市社協　検索

過疎地域で大きく一役！

～黒川区　本村・簾野　ふれあい昼食会～

簾野　昼食タイム

本村　健康体操　心と身体をリラックス

生野町黒川区の本村と簾野では毎月1回、ふれあい昼食会を開催。

過疎地域での孤立予防、生きがいづくり、安否確認などの効果が期待されています。

この広報誌は、共同募金の配分を受けて発行しています。

特集

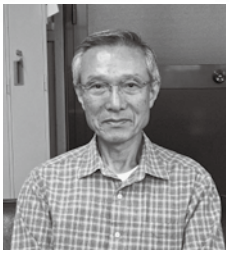
2025年 未来予想
10年後の町は?

Future forecast.
The town
after decades.

今から10年後、いわゆる団塊の世代が75歳になる年齢に達する年となり、3人に1人が65歳以上高齢者、5人に1人が75歳以上高齢者となる超高齢社会を迎え、介護や医療の社会保障費の急増が懸念されます。

また、急激な過疎化によって人のつながりの減少や担い手不足、支え合って成り立ってきた集落の衰退等が心配されています。

そこで今回は市民の方にインタビュー。テーマはズバリ「10年後の町はどうなっていますか?」。未来に向けて、考えていくべきことのヒントを探っていきたいと思います。



和田山新町区
山本 光男さん
(ミニデイなごみの会 世話人)

和田山新町区は和田山の中心に位置し、駅やお店、町医者も近く、利便性の高い区です。昔は個人のお店も多くありましたが、今は少なくなりました。

お年寄りの方は年々増えており、75歳以上の方が約20%です。逆に子どもは減っており、これから幼稚園や小学生になる子は数えるほど。一斉下校でグラウンドに集まる子供を見ると少なさを実感します。

新町には青年グループの「新和会」と、還暦過ぎのメンバーで構成する「ひよこの会」、お年寄りを対象としたミニデイ「なごみの会」があります。私が素晴らしいと思うのは、年をとっても地域の人たちと関わることができるグループがあるということです。年を重ねても同世代の人と話ができるというのは生きがいにも通じていると思います。

10年後は、空き家の増加を心配しています。それにより、建物の劣化や不法侵入、不審火、動物の棲みこみなども考えられます。今は10数軒ですが、10年後は20軒を越すと思います。また、隣近所の付き合いの希薄化も心配です。高齢化の中では昔のような声掛けや見守りがきっと必要なはずです。「向こう三軒両隣」が付き合いの基本中の基本だとも考えます。

そのような中、町中にグラウンドゴルフができる場所があればと思います。例えば和田山の4町内で気軽に利用できたら色んな交流や健康づくり、生きがいづくりに繋がります。

「明日は我が身、順送り」。いずれ私も皆さんのお世話にならざるを得ない時がまいります。今の内に少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思います。

「向こう三軒両隣が付き合いの基本中の基本だとも考えます。」

「年をとっても地域の人たちと関わることができるグループがあるということです。」

迫間区老人クラブ
太田 春雄さん

迫間区は山間にあり、農村地域に位置しています。立地の悪さも

あり、高齢者は買い物にはアコバスで行かれる方が多いです。

区内では老人クラブ、子ども会、そして、地域を盛り上げるボランティア団体として「風」「遊々クラブ」の二つがあり、私は「風」に所属しており、「広げよう地域の輪　つなげよう心の輪」をモットーに活動しています。「風」の活動は今の若い世代の人との交流をするためのパイプ役を担っています。年に一回区主催の夏祭りと今年から二年に一回の文化祭は地域の交流には欠かせないものになっていて、開催の際の準備には「風」が全面的に協力しています。これだけはなくならないように頑張っていきたいと思っています。

区のミニデイ「ひまわりの会」は月に二回開催と活発に活動されており、高齢者の方のいこいの場となっています。毎回顔を合わせて楽しく過ごされている方もいれば、なかなか外に出にくい方もおられるのが課題となっています。

10年後の迫間は…休耕田が増えて、人も戸数も減っていると思います。外に出ている地域の子どもたちは定年を迎えても戻ってこないんじゃないかなぁと思います。

区を盛り上げないといけないのは分かっていますが、それが難しいところです。10年後自分も70代になっているので、現在の40・50代の人には頑張ってもらいたい気持ちがあります。迫間区では20・30代の方が少ないのでなおさらです。

なかなか10年後を想像するのは難しいですが、変えていかないといけないのは分かっています。私たちと一緒に区を盛り上げてくれる若者が増えてくれればと願っています。

川尻区ふれあいサロン
ボランティア
日下部 弘美さん

生野町にある川尻区は15世帯45人の小規模な集落で、少し南に行けば神河町という谷間の地域にあります。市街地から離れているため、買物や病院の通院等にアコバスを利用されていますが、予約制ですぐには間に合いませんのでタクシーを利用することが度々あります。不便さがあり、運転が出来る人が必要なものを代わりに買ってきてあげるなどの手伝いもしています。

区民の年代で見ると、90代が3人、80代が8人をはじめ高齢の方が多く、小中高の子どもがいなくて、若い世代が少ない区です。

昨年の春には老人クラブがなくなってしまいましたが、定期的な食事会や気軽に寄れるおしゃべりの場として、川尻区のふれあいサロンを2年前より立上げ、月1～2回の活動日にはみな楽しみに参加していただいております。情報交換や安否確認の場になっています。

そして、川尻区はまちの規模や立地状況から、区の中で助け合いの意識が強く、お一人暮らし世帯への自然な見守りや声かけをしたり、怪しそうな業者が区に来た時は連絡を取り合い、被害が出ないようにお互い協力し合っています。

10年後は約1／2が70歳以上となり、さらに先を想像すると「区の消滅」ということも頭をよぎります。ですが、川尻区の強みは小規模だからこその助け合いの意識の強さです。今、高齢者を支えている方が10年後は支えられる立場になるでしょう。でも、きっと今度は次の世代の方が支えてくれると思います。この区の住人にとって、その意識は昔から受け継がれてきたものなんでしょう。今、ここにある町や人を守っていく意識を風化させないこと。これが10年後、それからの先の未来につながっていくのだと思います。

「川尻区の強みは小規模だからこその助け合いの意識の強さです。」

弥生が丘1区
民生委員
西村 弥生さん

弥生が丘は大変静かな田園地帯で陽当たりもよく、新しい家がどんどん建ち続ける新興住宅地です。30～40代の子育て世代が多く入居し、高齢者世帯の割合はあまり多くありません。新しい地域ですので昔からの祭りや伝統行事はありませんが、夏祭りでバーベキューをしたりグラウンドゴルフの大会をして地域の交流を図っています。組織としては、子供会と、主に高齢者を対象にしたY・Yクラブがあります。

Y・Yクラブは、とかく閉じこもりがちな高齢者の方の健康作りと交流を目的に平成20年に立ち上げました。「楽しく、元気に！」をモットーに、グラウンドゴルフや男の料理教室、子供会との交流クリスマス会等を楽しんでいます。「話す仲間ができてうれしい。」「外に出かけられて有難い。」と喜んで下さる声が私の一番の励みです。

10年後の弥生が丘は、高齢者の方が今よりうんと増えているでしょう。元気な高齢者もおられますが、さらに20年後を考えると、買い物や通院ができにくくなる深刻な問題も出てきます。一人暮らしの方はもっと心配です。行き着く問題はどの地域も同じだと思います。私も母の介護経験からその大変さがよく分かりました。

今後は暮らしやすい地域づくりのために、福祉の充実や人と人とのつながりを深めることが大切だと思います。知らない人たちが集まった地域だからこそ、人のつながりを深め、広げていくことが特に大切であると思います。私は、住んでいる人たちが弥生が丘に来て良かったと思える地域になったらいいなあと強く願っています。

「楽しく、元気に！をモットーに」

今から10年後は地域の実情に応じて色々な課題に直面すると予想されています。

しかし4名のみなさんは「このままじゃアカン」「自分たちの町は自分たちで守るんや」と地域の方が思い立ち、色々模索しながら自分たちができることを少しづつ活動につなげられておられます。まずはこういった意識を持ち、地道な活動を継続していくことが10年後の未来を変えるきっかけとなるのではないでしょうか。

次の記事では、課題や問題を乗り越える、団塊世代のパワーに迫ります!!

Interview
団塊の世代のボランティアインタビュー

常に「自分探し」その答えがボランティア活動でした!

次に、昭和23年生まれ、まさしく「団塊の世代」であり精力的にボランティア活動を行われている和田山の山下昇さんへ団塊の世代のボランティアについてお聞きしました。

まず、どんな活動をされているか教えていただけたらと思います。

市内介護施設で一方的ではなく利用者さん、スタッフさん皆、輪になって昔懐かしの歌謡曲や演歌、唱歌など歌ったり脳トレや踊りなどもしています。また大蔵小学校、枚田小学校で読み聞かせを行っています。だいたい月の半分ぐらいはこうやってボランティアの活動をしてますね。

だいたい2日に1日はボランティア活動されているのですね。では、ボランティア活動を始められるようになったきっかけは。

私自身の両親、家内の両親を介護しており、看取り、その後、2級ヘルパーの研修を受けました。実際、介護し、介護の勉強を行ったので、「何か役立つこと、自分にできることはないか」と思って、ヘルパーの研修終了後、市内の介護施設などに相談した事で、徐々にいろいろな施設からお声がかかるようになりました。今は、お年寄りから子供まで「山ちゃん、山ちゃん」って親しみをもって呼ばれるのがうれしいし、たくさんの拍手をもらうと、また頑張れる、逆にこちらが元気をもらえ、やりがいにつながります。

「行動力」がとても素晴らしいと思います。では、山下さんと同世代（同年代）の方がボランティア活動や市民活動に参加されるようにするには、どうしたらいいと思いますか。

「私は昔から歌や踊りが好きでしいますよ。」

た。自分としては前向きな性格だと思いますが…と言いながらも、ボランティアとボランティアの間で時間なんかあると67歳のおじさんに逆戻りですよ。そりゃ～家でゴロゴロしている時もありますよ（笑）。ただ、ひとつ言えることは、大事なのは「自分探し」だと思います。若い時から自分の得意分野や何が好きで、何が向いているのか、特性を見つけることだと思います。行きつく先が私の場合はボランティアでした。何でもいいと思

でも、なかなか山下さんのように「自分」を見つけられる人は多くないように思いますが…

「退職したら、こうしたいなぁ、こんなところに（旅行）行きたいなぁ」と思われている人は多いと思いますが、なかなか難しいと思います。「これをやりたい」という強い信念を持たないと難しいですよね。でも一番大切なのは、歳をとろうが、とらまいが、「気づいたら、やる！」ことだと思います。何かをするのに遅いことはないと思いますよ。」

山下さんのお話をお聞きし、気づいたら行動を起こす。地域でのボランティア活動や市民活動に関わらず、「自分を見つめ直す、自分探しを行うこと」って、人生の中で非常に大切なことだと改めて感じました。

じわりと増えてます ふれあい喫茶!!

社協も環境整備のための備品購入をお手伝い!!
（善意銀行・地域をつくる市民応援助成事業）

近年、ミニデイの新しいカタチとして「ふれあい喫茶」が増えてきています。市内でも11か所と徐々に広まっています。ミニデイのイメージといえばレクリエーションや健康体操などをイメージされる方も多いのでは!?

ふれあい喫茶の特徴としてみんなで集まってお茶やコーヒーを飲みながらワイワイおしゃべり!! だから企画に悩む必要がないんです。

今回はふれあい喫茶をされている地域をご紹介します。

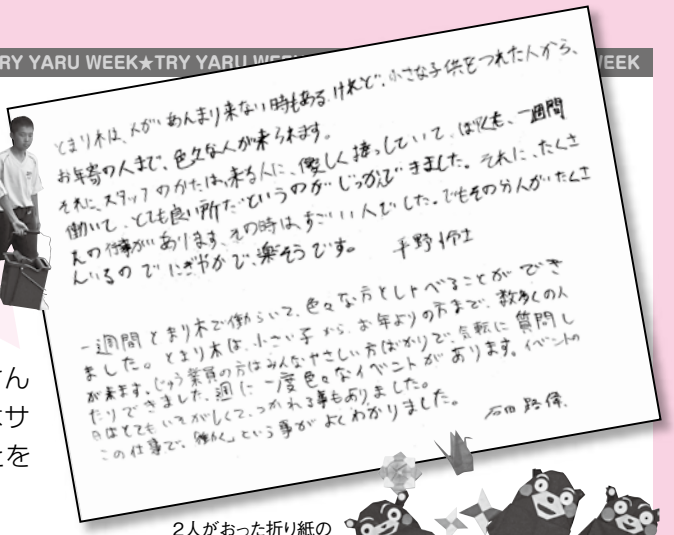
ふれあい喫茶開催地区 11地区

生 野：川尻区・円山区・南真弓区　和田山：枚田区（上地）・高田区
山 東：三保区・森区・与布土区　朝 来：物部区・土肥区・口田路区

TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK

新しい自分を発見!!

トライやるウィーク生徒 とまり木サロンわだやま 活動レポート



6月1日～5日の5日間、和田山中学校2年の平野怜士（れいじ）さんと石田路偉（ろい）さんがトライやるウィークで駅前の『とまり木サロンわだやま』で活動されました。二人が感じられたことをご紹介します。

2人がおった折り紙の“くまもん”クオリティー高し▶

法人内では「とまり木」のほか、「デイサービスセンターかしのき園」・「小規模多機能施設おくらべ」でそれぞれ市内中学生が活動されました。

TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK★TRY YARU WEEK

思いをカタチに！

地域をつくる市民応援助成事業の
助成を受けられた団体を一部ご紹介。

「赤い羽根共同募金」の配分金の一部を活用した「地域をつくる市民応援助成事業」がスタートし早6年目を迎えました。

近年、申請団体は増加傾向にあります。特に高齢化の進行から地域ミニデイ実施団体が比較的多い状況です。

それぞれの申請団体が思われている「なんとかしたい!」という思いが、どのような形になり実現されているのでしょうか。今回は実際に助成を受けておられた団体からお話を伺いました。

グループ｜あそびのひろばクレヨン

左から清水さん・松尾さん。
熱心にお話をして下さいました。

●活動状況

毎週土曜日10:00～11:30の間、朝来子育て学習センター（旧山口幼稚園）で子育て中のお母さんと子どもが気軽に集える場を設けています。

●整備された内容・成果

念願の抗菌マット・ストーブ・おもちゃを購入し、環境整備をさせていただきました。お陰様で参加されている朝来市内外の子育て中のお母さん方にも大変喜んでいただいています。

共同募金にご協力頂いている市民の皆様へメッセージ

助成を受けるという事は多くの人の気持ちを頂いているという事でもあるので、現在「頑張らないと!」と自分自身に言い聞かせながら活動に取り組んでいます。

今後も整備させて頂いた備品を有効活用していきます!

実際の活動スペース

グループ｜ガールズトーク

「この時に、この瞬間に」シャッターチャンス!

●活動状況

歳を取る（年齢を「とる」＝若返る）という意味から「ガールズ」。そのガールズがワイワイおしゃべりをするという意味から名づけられた「ガールズトーク」。現在、山東町内でまちの話題や身近な出来事を掲載した「おばちゃん遊遊」という情報紙を、平成24年10月から年3回のペースで発行されています。取材させていただいたこの日もグループの皆さんがワイワイ、井戸端会議に花を咲かせながら記事を作成されていました。

●整備された内容・成果

まちの広報部員としてまちの変化や出来事を、市民目線でお伝えするためには写真が必要です。「今がシャッターチャンスやったのに…」とその時にカメラが無く、これまで残念な思いをされたことがあったため、何とか「手軽に、いつでもグループのメンバーが写真を撮れるよう」にとデジカメ等の購入のため当事業に申請をされました。

情報は生ものであり「タイムリー」な撮影が必要。そんな時にメンバー誰もが気軽に写真を撮れる、このデジカメは外へ出る時は手から離せない存在で、現在、山東町内の美容院・銀行・喫茶店などを中心に配布されています。

今後も、わいわい楽しみながら自分たちの出来る範囲で活動を続け、地域を盛り上げていきたい、これからも頑張りますと熱い想いを語って頂きました。これからもデジカメを活用しながら、頑張って頂きたいと思います。

ギモン!?高校生の目に映る福祉とはどんなの?

和田山高校2年の生徒3人に突撃インタビュー

学校の「生活と福祉」を選択され、6月から秋頃まで看護や福祉に関する色々な講義を受けられる左から藤本茉優(まゆ)さん、西村祐香(ゆか)さん、藤原晴菜(はるな)さん。

インタビューに少し緊張した様子の3人でしたが、“福祉”について聞いてみました。

Q. 福祉ってどんなイメージを持っていますか?

A.
- 高齢者が多いというのと、親戚のおばあちゃんが介護が必要になっていますので、介護のイメージがあります。
- 高齢者施設や高齢者の方をお世話するイメージです。施設に行った時、自分の予想以上に元気でおしゃべりやオセロをされていたのを覚えています。
- 一人暮らしをされている高齢者の生活をイメージしました。私の地元では高齢者が多いことから、その生活を近所で見ていて自分でやることの大変さが伝わってきます。

Q. 最後に、「これなら私にもできるかもしれない」というようなボランティア活動やお手伝いってあると思いますか?

A.
- お年寄りの方が信号を渡ろうとしていましたが、膝が痛そうで杖も持っていなかったので腕を貸してあげて横断歩道を渡ることができました。お手伝いレベルの声掛けならできると思います。
- 重いものを持って、困っておられたら代わりに持ってあげたいと思います。
- 駅の階段を下りようとしたときに、おばあちゃんから荷物を持ってくれませんかと言われました。荷物を下に下ろすとお礼を言われ、役立って嬉しかったことを覚えています。これからもこんなお手伝いはできると思います。

Q. 福祉を身近に感じることはありますか?

A.
- 特にはありませんが、家の近くの施設の職員さんと会うことがあります。
- 近所に障がいをお持ちの方がおられ、一人で車いすで散歩されているのを見かけたりしていました。最近はあまり外にお出かけされてないようです。
- 地元に高齢者の方が多いので、その方たちの生活を思うことがあります。

ご無理なお願いに嫌な顔せずに答えてくださりありがとうございました。３人ともそれぞれ経験や見聞きしたことが心の中に残っておられ、その時のことを思い出すように語ってくれた姿が印象的でした。

福祉は日常的に家庭や地域、学校などで感じることができます。少しでいいから勇気を出して行動していくことが、温かく思いやりのある福祉のまちづくりにつながるかもしれません。

西村さん、藤本さん、藤原さん、これからも頑張ってくださいね!

あさごふれ愛の郷 徐々に工賃アップ!

障がい(身体・知的・精神)を持たれている方が働く訓練の場の一つとして、「就労継続支援B型事業」という福祉サービスがあります。

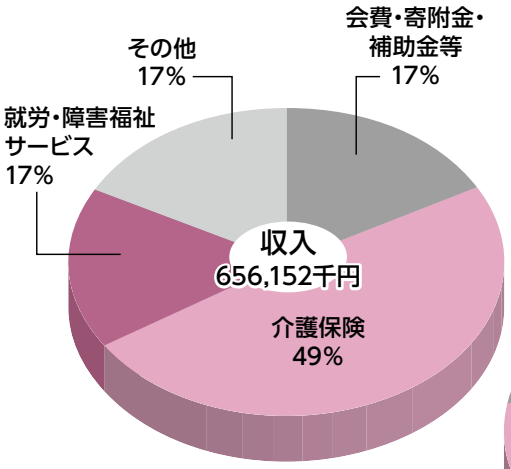
簡単に言うと、一般企業で働くことが難しい方が生産活動を行い工賃という形で収入を得る場所ということになります。

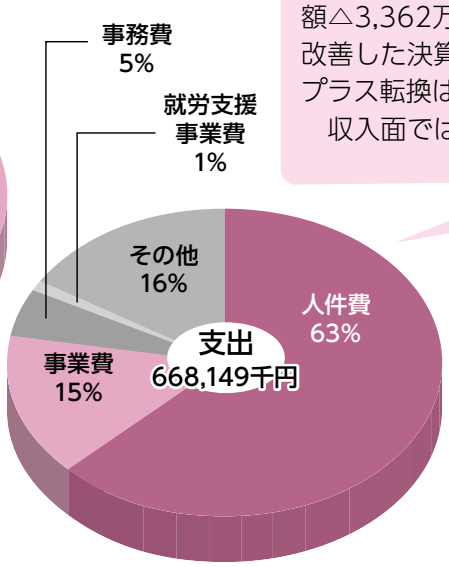
開所当時の平成23年に工賃としてお支払できたのは、お一人当たり3,695円/月でした。平成26年10月には工賃基準の見直しにより、お一人当たりの平均工賃額が9,376円/月(26年10月～27年3月)にまで引き上げることが出来ました。

このように事業所内での工賃は少しずつですが上昇してきています。しかし一般的な経済感覚からみるとまだまだ低いというのが現状です。

あさごふれ愛の郷の3つある就労継続支援B型事業所でも、新しい自主商品を開発や地元の企業様にも信頼される仕事ができるよう日々頑張ってご利用者にお支払できる工賃を少しずつでもあげていきたいと日々頑張っています。

前年より改善するも、依然厳しい法人決算
平成26年度の資金収支決算（法人全体）





当期資金収支差額：△11,997千円

今年度の法人決算は、前年の当期資金収支差額△3,362万円と比べますと、2,200万円程度改善した決算となりましたが、財政の健全化のプラス転換は達成できませんでした。

収入面では、介護保険事業が前年比較450万円減収となり、障害福祉サービス部門で1,351万円の増収となり、合計1,407万円の増収となりました。支出面では、事務費分野に於いて500万円程度コストの増となりました。固定資産面では、小規模多機能施設のスプリンクラー設置、車両整備、相談支援システム整備とで1,322万円程度の資金を充当しました。

あさまるくんからのお知らせ information

引き続きエコキャップ回収活動のご協力をお願いいたします！

今年度に入り、エコキャップリサイクル団体がエコキャップ売却益をポリオワクチン寄付以外へ転用される問題が一部新聞報道等で取り上げられました。

本会はエコキャップ兵庫 養父デポ（養父市）に回収協力を願い、NPO法人エコキャッププラス（高砂市）で取りまとめられ、換金後、ワクチンが購入されて世界の子どもたちに送られています。

報道等で取り上げられている団体とは無関係ですので、引き続き回収活動についてご協力をお願いいたします。

＼被災者に温かい支援を／

ネパール地震災害 義援金を募集しています

平成27年4月25日に発生したネパール連邦民主共和国における大地震に伴い、兵庫県などが中心となり「平成27年ネパール地震兵庫県義援金募集委員会」が設立されました。下記のとおり義援金を募集されていますのでお知らせします。

●**義援金募集期間**　平成27年8月31日（月）まで
●**義援金募集方法**　下記口座へ直接振り込み

郵便振替口座：00910－1－274983
名　　義：平成27年ネパール地震
　　兵庫県義援金募集委員会

屋久島町口永良部島新岳噴火災害 義援金を募集しています

平成27年5月29日に鹿児島県の屋久島町口永良部島（新岳）爆発的噴火により、鹿児島県熊毛郡屋久島町に災害救助法が適用されました。島民が島外に避難する事態となり、今後避難が長期化することが懸念されています。鹿児島県共同募金会では下記のとおり義援金を募集されていますのでお知らせします。

●**義援金募集期間**　平成27年12月25日（金）まで
●**義援金募集方法**　下記口座へ直接振り込み

■鹿児島銀行　県庁支店　普通　3014786
　名義：　福）鹿児島県共同募金会
■南日本銀行　県庁支店　普通　1142855
　名義：　福）鹿児島県共同募金会

発行日／2015年7月3日

発行／社会福祉法人朝来市社会福祉協議会
〒669-5152 兵庫県朝来市山東町楽音寺95
TEL.079-676-5213 FAX.079-676-5214

ご寄付いただいた皆様の善意にお応えできるよう、有効に活用させていただきます。

善意銀行だより

平成27年4月1日～平成27年5月31日

生野

●供養預託
●金銭預託
・生野二区　古川　晴江（亡母）
・生野四区　高橋　康夫（亡父）
・生野新町　奥藤　博司（亡父）
・生野新町　白瀧　隆子（亡夫）
・生野新町　戸田　正実（亡母）
（車いす、介護用品）
・北真弓　西畑　博彦（亡父）
●善意の預託
●金銭預託
・生野四区　佐竹　英文
・北真弓　河原オート
・ASAGOダンスフレンズ
代表　羽渕　明

和田山

●供養預託
●金銭預託
・高瀬　田中　淳一（亡母）
（介護用品）
・駅前　芦田ユリ子（亡夫）
・和田山新町　熊中　忠雄（亡母）
・玉置　西垣　照（亡妻）
・野村　足立　良幸（亡父）
・野村　小山　栄（亡母）
・野村　宮田　孝仁（亡母）
・岡田　和田　豊二（亡母）
・竹田上町　大江　勝（亡母）
・栄町　田村壽美恵（亡夫）
●善意の預託
●金銭預託
・土田　竹森鐵工㈱
・枚田　日原フミ子
・白井　白井大町藤公園管理組合
（車椅子借用礼）
・匿名1件
●物品預託
・匿名1件（介護用ベッド一式）

山東

●供養預託
●金銭預託
・矢名瀬下町　大崎　輝夫（亡妻）
・小谷　池本　茂則（亡兄）
・東　福島　信夫（亡妻）
・和賀　安積　敏明（亡母）
・迫間　浦野　雅夫（亡父）
●善意の預託
●金銭預託
・山東町仏教会（備品借用礼）
・山東民生委員児童委員協議会（2件）
・朝来市シルバー人材センター　女性会
・匿名1件（松葉杖借用礼）
・匿名1件

朝来

●供養預託
●金銭預託
・立脇　上田　久夫（亡父）
・石田　池野　信博（亡妻）
・新井一区　木村　嘉宏（亡母）
・新井三区　羽渕　富夫（亡母）
・平野　清水　唯幸（亡母）
・中田路　梶本　誠（亡母）
・元津　坂田　義弘（亡母）
●善意の預託
●金銭預託
・多々良木　医療法人社団　俊仁会
・立野　木村医院職員一同（3件）
●物品預託
・匿名1件（介護用品）
・匿名1件（野菜）
・匿名1件（衣類）

市外

●供養預託
●金銭預託
・三田市　井後　光一（亡父）

（敬称略・順不同）※名前、預託内容、金額等については、申込者に承諾をいただいて掲載しています。

平成26年度　善意銀行払出状況

内　容	件数	金　額
ベンチ	10脚	267,840
火災見舞金(弔慰金)	1件	50,000
火災見舞金(全焼)	1件	60,000
災害義援金 (丹波・福知山・広島)	3件	150,000
緊急対策支援(お米・食糧)	8件	24,500
ミニデイ用具補助	2件	38,000
イベント用具補助等	5件	275,616
合　計		865,956

【第61号善意銀行だよりの訂正】
物品預託のところで「立脇　上田たね子」様と掲載しておりましたが、正しくは「立脇　立脇老人クラブ」様でした。お詫びして、訂正いたします。

やりがいづくり
ここから始まる
介護職への
第一歩

介護員養成研修
（介護職員初任者研修）

9月開講予定!!

この研修で介護職員として従事する上で必要な知識や技術を身につけることができ、研修終了後は介護施設の介護職員や訪問介護員（ヘルパー）としての第一歩を踏み出すことができます。

募集期間　平成27年8月の予定
新聞折り込みや本会ホームページなどでお知らせの予定

問い合せ　朝来市社会福祉協議会　総合支援課
☎676−5213

編集後記

健康とは…WHO憲章では病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること。と定義されています。世界にはどれくらいの人が健康なのでしょうか。興味深いものです。肉体、精神、社会的の三つがそろうのはなかなか難しいかもしれませんが、その内一つか二つは常に満たされている状態でありたいですね。ちなみに私は…

[E-mail] asago-sishakyo@sasayuri-net.jp
[ホームページ] http://www.asagoshakyo.jp/
[ブ ロ グ] http://blog.goo.ne.jp/asagoshakyo/